

105-189

問題文

脳腫瘍に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 頭蓋内に発生した悪性新生物の総称である。
2. 原発性と転移性到大別され、その発生頻度はほぼ同じである。
3. 頭蓋内圧亢進症状と脳局所症状がある。
4. 頭蓋内圧亢進による噴出性嘔吐は悪心を伴わない。
5. 性格の変化を伴うことはない。

解答

3, 4

解説

選択肢 1 ですが

脳腫瘍とは、頭蓋骨内側にできた腫瘍の総称です。「悪性新生物の総称」ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

原発性 9 割弱、転移性 1 割強です。「発生頻度はほぼ同じ」ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

性格の変化を伴うこともあります。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3,4 です。